

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	株式会社読売新聞東京本社		
事業所の名称	株式会社読売新聞東京本社 仙台ビル		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区中央二丁目3番6号		
主たる事業	各種商品小売業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	当社では、入居テナント、ビル保守管理会社と協力し、以下の点を重視して地球温暖化対策に取り組む。 ① 空調、照明の運用を中心とした省エネルギーの徹底 ② 屋上緑化による温室効果ガスの削減 ③ 入居テナントなどに対する環境意識向上のための定例会議等による啓発活動		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	3,122 t-CO ₂	基準原単位	7.255
	目標年度	2022 年度	目標排出量	3,027 t-CO ₂	目標原単位	7.035
			削減率	3.04 %	削減率	3.03 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	3,045 t-CO ₂	排出原単位	7.077
			削減率	2.46 %	削減率	2.45 %
	排出量等の増減理由	コロナ禍の影響による利用客減少(本建物の大部分が商業施設イオンが使用している)がエネルギー使用量減少の主な要因と考えます。				
	第2年度	2021 年度	排出量	2,923 t-CO ₂	排出原単位	6.794
			削減率	6.37 %	削減率	6.35 %
	排出量等の増減理由	店内照明の一部LED照明を高効率のものに更新いたしましたが、コロナ禍の影響による利用客減少(本建物の大部分が商業施設イオンが使用している)がエネルギー使用量減少の主な要因と考えます。				
	第3年度	2022 年度	排出量	2,625 t-CO ₂	排出原単位	6.101
削減率			15.91 %	削減率	15.90 %	
排出量等の増減理由	店内照明を間引き点灯により運用。 エスカレータを開店5分前に稼働させることの徹底。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	94 %	目標年度	94 %
	第1年度	93 %	実施状況の説明等	項目14: 店内における特に客数が多い箇所に二酸化炭素濃度計を設置しました
	第2年度	93 %	実施状況の説明等	項目24: 店内の一部LED照明を高効率のものに更新いたしました。
	第3年度	93 %	実施状況の説明等	項目24: 店内の一部LED照明を高効率のものに更新いたしました。

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	ほとんどの従業員の通勤は公共交通機関によるものとなっています。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	一部の空調機器を更新することにより消費エネルギーの削減をはかる。	未実施